

第4節 環境課

〔総括概要〕

今日の環境問題は、河川や土壌の汚染、騒音、悪臭の問題など、市民の日常生活に直接関わるものから、自然破壊による生物多様性の問題など、人類への影響のみならず、地球上の生命の生存そのものを脅かすものまで、複雑・多岐で深刻な課題を抱えており、その解決のためには、地域はもとより、全世界を挙げた取組を進めることが求められている。

生物多様性の観点から、主に特定外来生物クビアカツヤカミキリ被害木の防除対策、伐採を推進するため、伐採費等の一部補助を行った。また、県が主体となり本市と近隣の足利市・佐野市を含めたクビアカツヤカミキリ防除研究部会を発足し生態調査を実施した。

栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく事務など県からの権限移譲に対応しつつ、県と連携して公害発生原因者への指導等を行うとともに、土砂等の埋立てによる土壌汚染と災害の発生防止を図ったほか、市営墓地の円滑な管理・運営に努めた。

このほか、あじさいの杜（栃木市斎場）が令和5年10月1日から供用開始となり、施設の運営及び維持管理業務を令和20年度までPFI事業者が実施していく予定である。

環境保全係

1 環境審議会

環境基本法（平成5年法律第91号）第44条の規定に基づき市長の諮問に応じ環境の保全及び創造に関する基本的な方針に関する事項、環境基本計画に関する事項及びその他環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進する上で必要な事項を調査審議するために設置した。

(1) 開催状況

	開催日	場 所	議 事
第1回	10月31日（金）	とちぎクリーンプラザ 大会議室	・一般廃棄物処理基本計画（案）について ・し尿処理施設整備基本計画（案）の策定について
第2回	1月30日（金）	とちぎクリーンプラザ 大会議室	・一般廃棄物処理基本計画（案）について ・令和6年度第2次栃木市環境基本計画年次報告書（案）について

2 環境づくり市民懇談会

栃木市環境基本計画に基づき、環境の保全及び創造に関する施策に広く市民の意見を

求める場として、栃木市環境づくり市民懇談会を設置し、環境基本計画を推進するための意見交換を実施した。

開催状況

開催日	場 所	議 事
12月17日(水)	栃木市役所 正庁	・令和6年度第2次栃木市環境基本計画年次報告書 (案)について

3 環境学習・啓発活動事業

(1) 親と子の水辺教室の開催

夏のわくわく大作戦！親子水辺教室（渡良瀬遊水地課と共催）

熱中症警戒アラート発令により中止

(2) イベント

エコライフinとちぎの開催

・開催日 2月7日(土)

・場 所 とちぎ岩下の新生姜ホール(栃木文化会館)

・内 容 講演会「天気の人から見た地球温暖化」

講師 天達武史氏（気象予報士）

環境保全に関する啓発展示、体験教室

・来場者 約800人

4 狂犬病予防業務

(1) 犬の登録 (単位:頭)

新規登録数	登録抹消数	登録総数
461	570	8,370

(2) 狂犬病予防注射

ア 春季集合注射

・実施期間 4月10日(木)、11日(金)、12日(土)、15日(火)、16日(水)、
19日(土)、26日(土)

・実施会場 市内29会場

・実施数 1,138頭

イ 秋季集合注射

・実施期間 10月10日(金)、11日(土)、16日(木)、18日(土)

・実施会場 市内14会場

・実施数 238頭

ウ 個別注射

・実施方法 各動物病院等において個別に実施

・実施数 3,958頭

5 犬猫不妊手術費補助金交付業務

犬又は猫の無秩序な繁殖を抑制するとともに、犬又は猫の飼養者の健全な飼養意識の高揚を図ることを目的に、市内で飼養されているメス犬又はメス猫の不妊手術の一部を補助した。

補助金交付状況

区 分	補助件数(件)	補助金額(円)
犬(一頭当たり5,000円)	95	475,000
猫(一頭当たり4,000円)	256	1,024,000
合 計	351	1,499,000

6 生物多様性保全事業

特定外来生物クビアカツヤカミキリによる生態系に対する被害を早急に防止し、蔓延・定着の防止を図る事業を行った。

市が新たに確認した市内被害木件数

(単位:本)

地域	樹木種					地域合計
	サクラ	ウメ	モモ	ハナモモ	その他	
栃木	362	28	2	4	14	410
大平	10	10	0	1	6	27
藤岡	21	2	0	1	0	24
都賀	31	1	0	2	3	37
西方	46	3	0	1	1	51
岩舟	43	3	0	2	1	49
樹木種合計	513	47	2	11	25	598

(1) 市民への周知及び市民からの被害木の情報収集

ア 広報等を利用し、クビアカツヤカミキリの生態について市民への周知・啓発を図るとともに、市民からの被害木の情報収集を行った。

(2) 栃木県外来種被害対策協議会との連携事業

栃木県外来種被害対策協議会との連携事業として、民有地におけるクビアカツヤカミキリ被害木に対する防除対策、樹木管理者への防除指導を実施した。

また、樹木管理者に対し、防除ネット等の資材及び殺虫剤の配布を行った。

(3) クビアカツヤカミキリ防除研究部会

クビアカツヤカミキリの生態調査や防除対策の研究部会が、県が主体となり、県内でも被害の多い3市(栃木市、佐野市、足利市)で調査を行った。

(4) 栃木市クビアカツヤカミキリ被害木伐採推進事業費補助金交付事務

クビアカツヤカミキリによる被害の拡大防止を図るため、市内に存する被害木を所有(管理)する者に対し、被害木の伐採等の費用の一部補助を行った。

・補助額 被害木の伐採、切断及び運搬に必要な費用の合計額に6分の5を乗じて得た額(千円未満の端数があるときは、切捨て)

・補助限度額 250,000円

- ・補助申請 62件
- ・補助総額 12,483,000円
- ・伐採本数 132本

7 斎場関係

(1) 斎場使用状況 (単位：件)

区分	斎場				
	大人	小人	その他	死産児	計
市内	2,211	2	18	14	2,245
市外	26	—	1	1	28
合計	2,237	2	3	15	2,273

(2) 新斎場整備運営事業（PFI）

PFI事業者による施設整備が完了し、維持管理・運営業務を開始した。

区分	金額（円）	備考
施設整備費	44,837,564	割賦払分（サービス購入料B R7年度分） 割賦払い分元本の総額に係る消費税
維持管理・運営費	135,600,204	R7年度分

(3) 業務委託

下記の業務委託を実施した。

業務委託名	金額（円）	備考
栃木市新斎場整備運営事業に伴う維持管理・運営モニタリング業務委託	3,289,000	R4～R7年度事業 ※総額 10,516,000円
市道61095号線除草外業務委託	495,000	

8 改葬許可件数

- ・292件

9 動力噴霧機・草刈機貸出状況

自治会に対し、衛生害虫駆除のための動力噴霧機の貸出しを行った。また、市民及び自治会に対し病害虫発生之源となる雑草を刈るための草刈機の貸出しを行った。

- ・動力噴霧機 貸出台数 延べ 5台
- ・草刈機 貸出台数 延べ 26台
刈払面積 延べ 14,080㎡

10 栃木市墓園使用許可状況

(1) 栃木市聖地公園

ア 区画別許可数 (単位：区画)

種別及び面積	造成数	許可数
--------	-----	-----

第1種（芝生墓所）5㎡	177	171
第2種（芝生墓所）6㎡	168	151
第3種（芝生墓所）5㎡	344	329
第4種（一般墓所）5㎡	152	145
第5種（芝生墓所）5㎡	555	533
第6種（芝生墓所）5㎡	198	184
第7種（芝生墓所）5㎡	600	591
第8種（一般墓所）5㎡	88	79
第9種（芝生墓所）2㎡	200	197
合 計	2,482	2,380

イ 合葬墓地許可数

（単位：体）

種別	収 蔵 数	許 可 数
合葬墓地	2,600	156

(2) 栃木市都賀聖地公園墓地

（単位：区画）

種別及び面積	造 成 数	許 可 数
第1種（芝生墓所）6㎡	441	439
第2種（芝生墓所）10㎡	22	22
第3種（芝生墓所）6㎡	145	145
第4種（芝生墓所）6㎡	185	184
合 計	793	790

(3) 栃木市藤岡中根墓地・栃木市藤岡太田墓地

（単位：区画）

名称及び面積	造 成 数	許 可 数
藤岡中根墓地 5㎡、7.29㎡	270	270
藤岡太田墓地 5㎡、7.29㎡	78	78
合 計	348	348

(4) 栃木市西方菅ノ沢墓地・栃木市西方東上林墓地

（単位：区画）

名称及び面積	造 成 数	許 可 数
西方菅ノ沢墓地 19.85㎡	10	10
西方東上林墓地 6.6㎡	25	25
合 計	35	35

11 公害関係

(1) 大気関係

ア 光化学スモッグ注意報発令状況

（単位：回）

発令月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
発令回数	—	1	—	—	—	—	1

イ 大気汚染防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他
大気汚染防止法に基づく届出	4	2	9	10
栃木県環境保全条例に基づく届出	2	－	1	1

(2) 水質関係

水質汚濁防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他
水質汚濁防止法に基づく届出	7	5	10	17
栃木県環境保全条例に基づく届出	－	－	－	2

(3) 騒音関係

ア 自動車騒音常時監視業務

栃木県より平成24年4月から権限移譲を受けたもので地域の騒音暴露状況を経年的に統計立て監視業務を実施して環境省（環境大臣宛）に報告を行うもの。

栃木市は県からのデータを基に110か所の道路区間を5年間に分けて自動車騒音常時監視業務を実施する。本年度は23か所の道路区間で業務を実施した。

イ 騒音規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
騒音規制法に基づく届出	3	2	1	6	7
栃木県環境保全条例に基づく届出	2	9	－	8	10

(4) 振動関係

振動規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
振動規制法に基づく届出	2	1	－	4	6
栃木県環境保全条例に基づく届出	2	6	－	6	9

(5) その他

ア 公害苦情受付件数 (単位：件)

大気	水質	騒音	振動	悪臭	土壌	その他	合計
74	8	40	3	17	－	14	156

イ 鍋山地区環境整備懇談会

鍋山地区の粉じん公害問題解決のため、9月9日（火）に地元自治会代表と石灰企業各社立会いのもと現地調査を実施し、石灰企業各社に対して改善を要望した。

また、10月24日（金）に懇談会を開催し、地元要望事項について石灰企業各社と

協議した。

ウ 土壌汚染等の防止

宅地造成及び特定盛土等規制法及び栃木県土砂等の埋立て等による土壌の汚染に関する条例に基づき、栃木県と連携して土砂等の埋立て等による土砂汚染や無秩序な埋立て等に伴う災害の発生を未然に防止し、市民生活の安全と生活環境の保全を図った。

- ・対応件数 7件

12 水質調査関係

(1) 河川等水質調査

市内を流れる河川等について、次のとおり水質調査を実施した。15河川

- ・調査河川 瀬戸ヶ原用水、清水川、永野川、荒川、巴波川、県庁堀川、杣冷川、猿渕川、赤津川、江川、蓮花川、旧渡良瀬川、市内用水、三杉川、静和川
- ・調査期間 通年
- ・調査項目 pH、BOD、SS、DO、大腸菌数、電気伝導率

(2) 地下水水質調査

市内における地下水について、次のとおり水質調査を実施した。

- ・調査地点 市内 14 地点
- ・調査月日 2 月 24 日（火）・2 月 26 日（木）
- ・調査項目 全 28 項目

（カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、ヒ素、総水銀、アルキル水銀、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー）、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ホウ素、フッ素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、1,4-ジオキサン）